

動物実験に関する自己点検・評価報告書

岐阜大学

平成 2 9 年 3 月

## I. 規程及び体制等の整備状況

## 1. 機関内規程

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
・国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
<p>基本指針に適合する機関内規定が適切に定められている。</p> <p>外部評価の検証において、「基本指針に適合する機関内規程が定められている。」と評価されたが、さらによくするため、「規程施行以前の状況に配慮した「実験施設」等の文言には、現状に合致しないものがみられることから取捨を検討されたい。」との改善を進言されたことについて、現状に合致した文言となるよう取捨の検討を行った。</p>
4) 改善の方針、達成予定時期
平成 28 年度に、規程の改正を行い文言の適正化を諮る。

## 2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程</li> <li>・動物実験委員会名簿</li> <li>・岐阜大学医学系研究科動物実験審査委員会細則</li> <li>・岐阜大学応用生物科学部動物実験審査委員会細則</li> <li>・医学系研究科動物実験審査委員会名簿</li> <li>・応用生物科学部動物実験審査委員会名簿</li> </ul>
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
<p>動物実験委員会及び各動物実験審査委員会が設置されており、適正に運営されている。</p> <p>外部評価の検証において、「基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。」と評価されたが、さらによくするため、「学長ならびに全学動物実験委員会、部局長、2つの委員会の階層性や委任関係がわかりにくいいため、規則あるいは規程、細則、申請様式のなかでそれぞれの役割を明かにするこ</p>

とが望ましい。」との改善を進言された点について、規程、細則、申請書式の中でそれぞれの役割を明からにするよう検討を行った。

#### 4) 改善の方針、達成予定時期

平成 28 年度に、規程等の改正を行い、それぞれの役割を明らかにする。

### 3. 動物実験の実施体制

#### 1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

#### 2) 自己点検の対象とした資料

- ・国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程
- ・岐阜大学医学系研究科動物実験審査委員会細則
- ・岐阜大学応用生物科学部動物実験審査委員会細則

#### 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。

外部評価の検証において、「基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。」と評価されたが、さらによくするため、「全学で統一された動物実験計画書の書式を使用しているものの、部局間の情報共有が不完全なことから、審査要領の策定や有効期限の統一等運用面で整合性を踏られたい。」との改善を進言されたことについて、審査要領の策定や有効期限を統一させる規程の改正を行い、全学での整合性が図れるよう検討を行った。

#### 4) 改善の方針、達成予定時期

平成 28 年度に、審査要領の策定や有効期限の統一等運用面で整合性が図れるよう、規程等の改正を行う。

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

#### 1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

#### 2) 自己点検の対象とした資料

- ・国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程
- ・国立大学法人岐阜大学組換え DNA 実験安全管理規程
- ・国立大学法人岐阜大学病原体等安全管理規程
- ・国立大学法人岐阜大学放射線障害防止管理規程
- ・国立大学法人岐阜大学エックス線障害防止管理細則
- ・国立大学法人岐阜大学薬品等管理規程

・生命科学総合研究支援センター動物実験分野利用の手引き
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

## 5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</li> <li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li> <li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li> </ul>
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程</li> <li>・岐阜大学飼養保管施設一覧 (合計: 22 施設) 工学部 (1 施設: 生命工学科培養室) 応用生物科学部 (17 施設: 応用生物科学部附属動物環境制御飼育室、等) 生命科学総合研究支援センター (4 施設: 生命科学総合研究支援センター動物実験施設小動物飼育区画、等)</li> </ul>
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験委員会委員が、飼養保管施設とその実験動物管理者を把握できる体制となっている。
4) 改善の方針、達成予定時期 今後も、施設の修繕等を定期的に行い、動物実験委員会から飼養保管施設の管理責任者に指導を徹底させていく。

## 6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

該当しない。
--------

## II. 実施状況

## 1. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜大学動物実験委員会議事要録（会議開催：1回 書面審議：2回）</li> <li>・医学系研究科動物実験審査委員会資料（会議開催：12回）</li> <li>・応用生物科学部動物実験審査委員会資料（書面審議：37回）</li> </ul>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程に基づき適正な委員会活動を実施している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

## 2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学系研究科動物実験審査委員会及び応用生物科学部動物実験審査委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料</li> </ul>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。</p> <p>医学系研究科及び応用生物科学部の動物実験審査委員会で審査状況の確認を行った。</p> <p>外部評価の検証においても、「基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。」と評価されたが、さらによくするため、「年度ごとに自己点検・評価や中間評価を義務づけるなど運用の工夫により、動物実験結果報告書の提出率のさらなる向上に向けた取り組みを検討されたい。また、一部ではあるが、苦痛度の評価・軽減措置、実験に使用する動物の数滴根拠など問題のある実験計画に必要な助言や指導が行われていない。動物実験計画の審査要領（基準）等を整備し情報共有化を推進するとともに、実験実施者へのより一層の教育訓練を図られたい。」との改善を進言されたことについて、自己点検・評価や中間評価等の提出の義務づけについて検討を行った。また、動物実験計画の審査要領等を整備し、情報の共有化を推進することについても検討を行った。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>平成 28 年度に、動物実験の自己点検・評価や中間評価等の提出を義務づけるため、規程の改正と様式の作成を行う。また、動物実験計画の審査要領（基準）等を整備し、情報の共有化を推進する。</p>

## 3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学系研究科動物実験審査委員会及び応用生物科学部動物実験審査委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料</li> </ul>
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
<p>安全管理上注意を要する動物実験について、他委員会とも連携をとり適正に実施されている。</p>
4) 改善の方針、達成予定時期
<p>該当しない。</p>

## 4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学系研究科動物実験審査委員会及び応用生物科学部動物実験審査委員会へ提出された動物実験計画書及びその審査状況等や実施状況の把握に関する資料</li> <li>・平成 27 年度実験動物の飼育等の状況調査表</li> <li>・生命科学総合研究支援センター動物実験分野利用の手引き</li> </ul>
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
<p>国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程及び生命科学総合研究支援センター動物実験分野利用の手引き等に基づき適正な飼育・保管を行っている。</p> <p>外部評価の検証において、「生命科学総合研究支援センター以外の飼養保管施設について、記録の追跡調査が実施されていない。また、飼養保管マニュアルあるいは飼育保管に関する作業日誌や日報などの記録が未整備の施設もある」と指摘があったため、それぞれの飼養保管施設に対応した飼養保管マニュアルやチェックシート型の自己点検票の整備など、管理運営体制の拡充に関して検討を行った。</p>
4) 改善の方針、達成予定時期
<p>平成 28 年度に、それぞれの飼養保管施設の目的や規模、設備、動物種等に対応した飼養保管マニュアルやチェックシート型の自己点検票を整備し、記録の保存とあわせて管理運営体制を拡充する。</p>

## 5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>・飼養保管施設設置承認に係る資料</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>飼養保管施設の申請に関して、動物実験委員会委員が、直接申請された施設を確認し、委員会が定めたチェックシートに沿い、調査を行っている。その調査結果をもとに、委員会が施設の設置承認の審査を行っており、審査体制は適正である。</p> <p>外部評価の検証においても、「基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。」と評価されたが、さらによくするため、「飼養数の飼養保管施設があることから、情報の共有とともに動物実験員会の調査・指導による施設の適正な維持が望まれる。老朽化した施設等には計画的な修理改善を検討されたい。」との改善を進言されたことについて、老朽化した施設の修理改善の検討を行った。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>平成 28 年度においても、複数の飼養保管施設での情報の共有とともに動物実験員会の調査・指導による施設の適正な維持に努める。老朽化した施設等には計画的な修理改善を検討していく。</p>

## 6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>・岐阜大学動物実験教育訓練実施状況の資料</p> <p>平成 27 年度実施回数：11 回、受講者数（のべ）：299 名</p> <p>&lt;実施日&gt;</p> <p>4 月 27 日、6 月 22 日、6 月 29 日、8 月 6 日、8 月 25 日、10 月 29 日、11 月 27 日（英語講義）、12 月 25 日、2 月 10 日、2 月 29 日、3 月 1 日</p> <p>・岐阜大学動物実験教育訓練資料</p> <p>&lt;教育訓練の内容&gt;</p> <p>関連法令、指針等について</p> <p>動物実験等の方法について</p> <p>実験動物の飼養保管方法について</p> <p>安全確保、安全管理に関する事項について</p> <p>その他、適切な動物実験等の実施に関する事項について</p>

## 3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。

外部評価の検証においても、「基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。」と評価されたが、さらによくするため、「動物実験・実験動物に重要であることから、人獣共通（動物由来）感染症についても教育訓練を実施されたい。」との改善を進言されたことについて、講習会において人獣共通（動物由来）感染症についても講義することとした。

## 4) 改善の方針、達成予定時期

平成 27 年度に、人獣共通（動物由来）感染症についても講習会の内容に取り入れた。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

## 1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

## 2) 自己点検の対象とした資料

- ・平成 27 年度 動物実験に関する自己点検・評価報告書

## 3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

平成 27 年度の動物実験に関する自己点検・評価結果を本報告書にまとめ、平成 28 年度内に岐阜大学のホームページに公開する予定である。

## 4) 改善の方針、達成予定時期

該当しない。

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

## (1) 岐阜大学動物実験委員会の構成

国立大学法人岐阜大学動物実験取扱規程により 7 名

## ①動物実験等に関して優れた識見を有する者

2 名：医学系研究科（再生医学）、応用生物科学部（獣医病理学）

## ②実験動物に関して優れた識見を有する者

1 名：生命科学総合研究支援センター（実験動物学）

## ③その他学識経験を有する者

4 名：工学部（神経化学・神経薬理学）、教育学部（環境学）、地域科学部（哲学）、学術国際部長

## (2) 医学系研究科動物実験審査委員会の構成

岐阜大学医学系研究科動物実験審査委員会細則により 9 名

## (3) 応用生物科学部動物実験審査委員会の構成



岐阜大学応用生物科学部動物実験審査委員会細則により 4名

(4) 平成 27 年度実験動物の使用及び飼育状況報告書 (別紙 1)

(5) 平成 27 年度動物実験実施状況に関する調査書 (別紙 2)

実験動物の使用及び飼育状況に関する調査(平成27年度分)

別紙1

	動物種	教育学部		地域科学部		医学部		工学部			応用生物科学部			生命科学総合研究支援センター			合計		
		使用数	飼育数	使用数	飼育数	使用数	飼育数	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日	使用数	飼育数	/1日
哺乳類	マウス(遺伝子改変マウス以外)	0	0	0	0	0	0	4	0	0	3,926	20,509	56	357	32,460	89	4,287	52,969	145
	マウス(遺伝子改変)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		6,120	17	31,776	5,827,475	15,966	31,776	5,833,595	15,982
	ラット(遺伝子改変ラット以外)	0	0	0	0	0	0	18	2,532	7	2,162	3,818	10	408	85,872	235	2,588	92,222	253
	ラット(遺伝子改変)	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	ハムスター類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	442	360	1	0	0	442	360	1	
	モルモット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	250	11	0	63	3,844	11	313	3,855	11
	スンクス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	27	12,102	33	87	12,102	33
	ウサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	198	15,013	41	202	15,015	41
	イヌ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	13,823	38	0	1,098	3	26	14,921	41
	ネコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,825	5	0	0	0	0	1,825	5
	フェレット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブタ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	7,750	21	10	432	1	20	8,182	22
	ヤギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10,950	30	0	0	0	1	10,950	30
	ヒツジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,095	3	0	0	0	0	1,095	3
	ウシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0
	ウマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	サル(マカク属)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル(リスザル属)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル(マーモセット属)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	3,439	9	12	3,439	9
	その他のげっ歯目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の食肉目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の偶蹄目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の霊長目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上記以外の哺乳類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鳥類	ニワトリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	296	439,800	1,205	0	0	0	296	439,800	1,205
	ウズラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,835	79	0	0	0	0	28,835	79
	ガチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	50	0
	その他の鳥類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
爬虫類	ヘビ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	カメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	50	0	0
	トカゲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の爬虫類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	29	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	22	2,532	7	7,259	534,948	1,466	32,851	5,981,735	16,388	40,132	6,519,215	17,861

※生命科学総合研究支援センターで実験・飼育を行っている動物については、そちらでカウントした。

※※飼育数に関しては平成27年含む任意の1年間の延べ数

※※※「/1日」は1日あたりの飼育数

# 動物実験実施状況に関する調査(平成27年度分)

別紙2

部局	継続課題*	新規課題	終了課題**
教育学部・教育学研究科	2	0	1
地域科学部	0	0	0
医学部・医学系研究科、医学部附属病院	143	47	27
工学部・工学研究科	0	1	0
応用生物科学部	107	130	108
連合農学研究科	2	0	0
連合獣医学研究科	0	0	1
連合創薬医療情報研究科	12	7	6
教育推進・学生支援機構	0	0	0
研究推進・社会連携機構	0	0	0
流域圏科学研究センター	0	0	0
生命科学総合研究支援センター	8	4	1
総合情報メディアセンター	0	0	0
保健管理センター	0	0	0
留学生センター	0	0	0
大学本部	0	0	0
岐阜薬科大学	25	16	5
合計	299	205	149

\*平成26年度以前に承認され平成27年度も継続した課題

\*\*平成27年度中に終了報告書が提出された課題